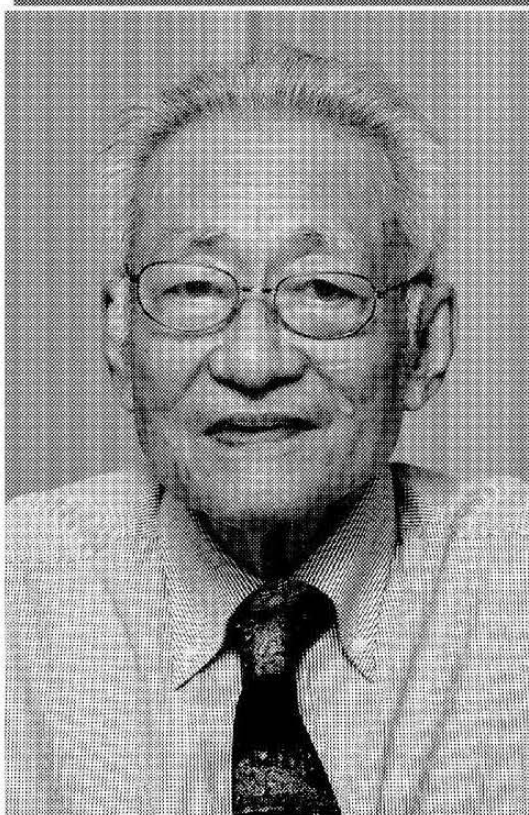




長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

268 神戸大名誉教授 中井久夫医師



僕は今、コロナワクチン接種後に様々な症状が持続して苦しんでいる人たちを診ています。学校や会社に長期間行けなくなったり、歩くこと、起き上がることもままならいままの状態です。一年以上いるなど、副反応という言葉で片付けるにはあまりに深刻な症状の人たちを、僕は「ワクチン後症候群」と名付けて試行錯誤しながら診療しています。

ああこんな時、この先生ならな
んて仰るだろう。僕にとって希望であった偉大な先輩がまた一人、星になってしまいました。
日本の精神医療に大きな道を拓き、阪神・淡路大震災の際は被災者の心のケアに尽力。PTSDの概念を広めたことでも知られる中井久夫医師(神戸大名誉教授)が8月8日、神戸市内の介護施設で亡くなりました。享年88。死因は肺炎との発表です。

5年前に亡くなった日野原重明医師と双璧をなすほど中井医師は領域横断的に本を読み、知識が豊富で哲学的な視点から医療を語れる偉大なひとでした。
中井医師が、1998年に神戸大学を退官された時の『最終講義』はみずす書房から書籍化され、ロングセラーとなっていました。この本から引用をします。
「医学を例にとれば、薬物の有効性と安全性を決定するのは統計的方法であるが、これで安全なのは平均的な個体であります。重大な副作用は平均から外れた個体に起こりがちであろうからケース・スタディが重要であり、実際、副作用を起こしたケースはすぐ報告するようになってきている。そうでないと危なくなってしまう。(中略)なお、一つしかないものについての科学はあるのかという疑問には、天文学や地理学の研究者は当然だと答えると思います。火星は一つしかありませんし、チョモランマ山も一つです。宇宙も一つ、進化も一回きりです」

どんなに叩かれようとも僕は、中井医師が残してくれた言葉を胸の一つ一つのケース・スタディと向き合い続ける覚悟です。

EBM(科学的根拠に基づいた医療: evidence-based medicine)は現代医療の基本です。より最善の治療

哲学的視点から医療を語れる偉大な先輩